

---

# 山崎、強し \*土×山

銀舞

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

山崎、強し \*土×山

### 【Nコード】

N8173A

### 【作者名】

銀舞

### 【あらすじ】

土方と山崎オンリー。銀魂のカプです。

「土方さん。いい加減起きて下さいよ。  
味噌汁冷めて、美味しくなくなりますから。」

真選組屯所。

朝、山崎は忙しい。

朝ご飯を隊士分作り、起きて来ない隊士達を起こしに歩く。  
特に土方は、山崎の悩みの種でもある。  
いつまでたっても起きて来ないのだ。  
だから、毎朝起こしに行く。

スツ……

ゆっくりと、土方の部屋の襖を開ける。

「土方さん？皆食べ終わっちゃいますよぉ？  
まったく……」

部屋に付いている小さな窓を、大きな音をわざと立てながら  
ガラツ！！

と開け、日の光を入れてやる。  
それでも、土方は一向に起きない。

「ん……？うう……」

日光を顔に受け、嫌そうにもがいたあと、再び布団へもぐった土方。  
まだ起きようとしなない。

そこで山崎は、最終手段を使う。

\*\*\*\*\*





## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8173a/>

---

山崎、強し \*土×山

2010年10月11日01時06分発行